

# Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト

実証実験の結果概要について



# 地域課題解決支援事業の目的・概要

## 目的

民間事業者等と市が協働しながら、地域課題や行政課題の解決に当たることで市民サービスの向上を図るとともに、イノベーションや新たなビジネスの創造につなげる。

## 概要

各課が抱える課題と、技術やノウハウを持つ民間事業者等とのマッチングを行い実証実験・実装につなげ、協働での課題解決をめざす。

実証実験を行う民間事業者等には、上限50万円の補助金を支給する。

## 公募

中間支援事業者・特定非営利活動法人コミュニティリンクが運営する「アーバンイノベーション豊中」の枠組みで事業者公募

公募期間：令和3年（2021年）6月28日～7月25日

審査を経て、9月22日付けで5団体を採択

# 採択団体・課題一覧

担当課	採択団体	課題
危機管理課	株式会社ウェザーニューズ	避難に支援が必要な市民への迅速な情報発信と安否確認
学校教育課	株式会社プロアシスト	小中一貫校開校に向け、非認知能力を育む教育カリキュラムをつくりたい！
基盤管理課	株式会社アーバンエックステクノロジーズ	道路情報が詰まったGIS※データをもっと活用し、安全安心なまちづくりに活かしたい！
家庭ごみ事業課 事業ごみ指導課	一般社団法人ソーシャルギルド	『もったいない』の心で創る循環型社会の実現
くらし支援課	株式会社ミギナナメウエ	労働環境の改善から、QOL向上へ！早期相談につながる新たな広報手段の開発

※ GIS…地理情報システム（Geographic Information System）。位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。

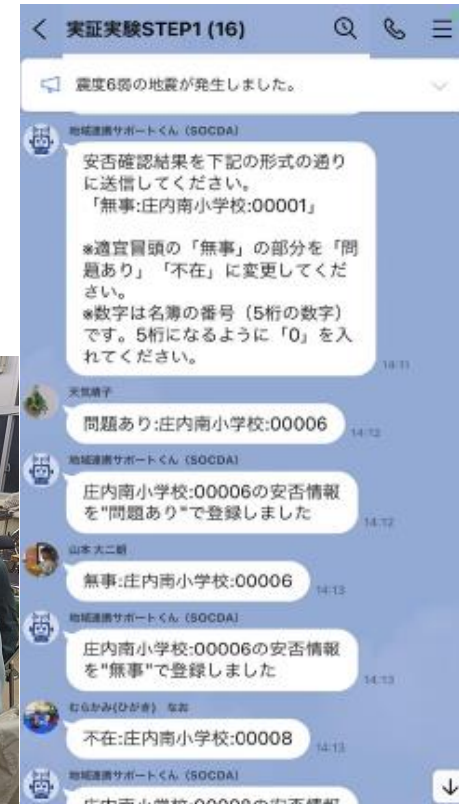
# 危機管理課 × 株式会社ウェザーニューズ

## 実証実験の内容

避難に支援が必要な市民（避難行動要支援者）への迅速な情報発信と安否確認を行う仕組みとして、LINEを用いた避難行動支援活動のデジタルツール活用について、地域ボランティアとの意見交換会や、市職員によるシステムの机上操作を行うことで検証を行った。

## 実証実験の成果

- 安否確認に関わる地域ボランティアの協力体制、関係部局との検討体制が構築できた。
- 操作性や既存システムとの連動、個人情報の取扱いについて、継続した検討が必要。



# 学校教育課 × 株式会社プロアシスト

## 実証実験の内容

小中一貫校の開校に向けたカリキュラム策定の中で、学力テスト等では数値化されない「非認知能力（考える力、やりきる力）」を育むためのツールとして、プログラミング教育の活用可能性の検証を行った。  
（仮称）庄内さくら学園校区の5・6年生に対し、習熟度に合わせた複数パターンの授業を作成し実施した。

## 実証実験の成果

- プログラミングに対する児童の関心の高さ、意欲が明らかになった。
- 9年間を通したカリキュラム作りに向けた知見が得られ、課題が明確になった。



# 基盤管理課 × 株式会社アーバンエックステクノロジーズ

## 実証実験の内容

豊中市の道路管理業務を向上させるため、スマホ・ドラレコを用いた道路の総合管理ツール「RoadManager」を公用車に設置し、道路の破損情報を効率的に収集できるか、また収集した情報をGISと掛け合わせて更なる効率化を図れるか検証した。



## 実証実験の成果

- 豊中市道路の巡回網羅率が18%アップするとともに、現状の巡回状況について把握できた。
- 修繕していない損害箇所について、道路巡回業務に対する課題が見受けられた。

# 家庭ごみ事業課・事業ごみ指導課 × 一般社団法人ソーシャルギルド

## 実証実験の内容

豊中市で収集したこども服の循環・リユースを、民間団体と共に仕組み作りができるか、リユースコーナーの設置やSNS等での発信、イベントを実施することで検証を行った。

## 実証実験の成果

- リユースコーナーへの来訪者、服の配布枚数、アンケート回答数など想定よりも多い数値を得られた。
- 家庭ごみ事業課が行っている業務について、市民団体等との協働により、事業の効率化・持続性が担保されることが推察された。
- 今回の実証実験の仕組みでは、継続実施が難しい。



# くらし支援課 × 株式会社ミギナメウエ

## 実証実験の内容

市民に対して、労働環境の改善について早期相談を促す新たな広報手段について、TikTokを活用し、労働問題が顕在化していない若年層に対して、労働問題の事例を広報啓発することで、アプローチできるかどうかを検証した。



TikTok 動画

・働いていて困った事例を  
アニメーションで紹介



特設ページ

・動画の内容について  
分かりやすい解説を掲載

対面や電話での相談が必要な  
深刻なケースは下記に誘導

- ・市の相談窓口のオンライン予約
- ・大阪府オンライン労働相談
- ・相談窓口の電話番号

## 実証実験の成果

- ・動画の再生数は目標には達しなかったが、一定の周知啓発効果は得られた。
- ・若年層に身近なテーマで再生数が伸びた一方で、社会的に関心が高いと考えていた動画では再指数が伸び悩み、TikTokの特性について知見が得られた。
- ・動画の作成・公開のみに留まらず、動画→ランディングページ→オンライン上での相談予約という、ターゲットの行動に繋がるまでの導線設計を行う手法について、知見を得られた。